

先生各位

## 報告内容の変更について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、現在、総蛋白（0037）、アルブミン（0038）と蛋白分画（0040）を同時にご依頼いただいた場合、総蛋白と蛋白分画から測定するアルブミン値・A/G 比及び蛋白分画の結果を報告しておりますが、今後は従来の報告値に加えて、アルブミン実測値とそれから算出する A/G 比を併記して報告させていただくことに致しました。それによりアルブミンと A/G 比が、それぞれ測定原理の異なる 2 つの方法での結果を報告させていただくこととなります。

尚、一部のお客様におかれましては、ご要望に応じてすでに変更しておりますことをご了承いただきたくお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧の程、重ねてお願い申し上げます。

謹白

### 記

- 《変更日》 平成 20 年 10 月 20 日（月）受付分より
- 《変更理由》 蛋白分画との同時依頼の有無に関わらず、アルブミン実測値の時系列データを確保するため。
- 《解説》 蛋白分画から測定するアルブミン値は、アルブミンとグロブリンの電気泳動膜への色素吸着能の差（アルブミン>グロブリン）により、実測値に比較して若干高め傾向となります。  
また、実測値の A/G 比と蛋白分画からの A/G 比とは同理由により基準値が異なります。